

平成29年第1回竜王町議会定例会（第5号）

平成29年3月27日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程（第5日）

- 日程第 1 発委第1号 竜王町議会委員会条例の一部を改正する条例
- 日程第 2 議第14号 平成29年度竜王町一般会計予算
(予算第1特別委員会委員長報告)
- 日程第 3 議第15号 平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算
(予算第2特別委員会委員長報告)
- 日程第 4 議第16号 平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）予算
(予算第2特別委員会委員長報告)
- 日程第 5 議第17号 平成29年度竜王町学校給食事業特別会計予算
(予算第2特別委員会委員長報告)
- 日程第 6 議第18号 平成29年度竜王町下水道事業特別会計予算
(予算第2特別委員会委員長報告)
- 日程第 7 議第19号 平成29年度竜王町介護保険特別会計予算
(予算第2特別委員会委員長報告)
- 日程第 8 議第20号 平成29年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算
(予算第2特別委員会委員長報告)
- 日程第 9 議第21号 平成29年度竜王町水道事業会計予算
(予算第2特別委員会委員長報告)
- 日程第10 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第11 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第12 人口減少対策特別委員会委員長報告
- 日程第13 所管事務調査報告
(議会運営委員会委員長報告)
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第14 議員派遣について

日程第15 委員会の閉会中の継続調査の申出について

2 会議に出席した議員（12名）

1番	貴多正幸	2番	小西久次
3番	若井猛志	4番	森島芳男
5番	森山敏夫	6番	内山英作
7番	松浦博	8番	古株克彦
9番	菱田三男	10番	山田義明
11番	岡山富男	12番	小森重剛

3 会議に欠席した議員（なし）

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	西田秀治	教育委員会教育長	甲津和寿
副町長	杼木栄司	総務主監	山添みゆき
住民福祉主監	松瀬徳之助	会計管理者	犬井教子
政策推進課長	岡司明德	総務課長	奥浩市
税務課長	川嶋正明	生活安全課長	込山佳寛
住民課長	心得森岡道友	福祉課長	嶋林さちこ
健康推進課長	中寫幸作	発達支援課長	木戸妙子
農業振興課長兼 農業委員会事務局長	徳谷則一	商工観光課長	井口清幸
建設計画課長	井口和人	上下水道課長	竹内修
工業団地推進課長	山路太郎	教育次長 兼教育総務課長	田邊正俊
学校教育課長	心得清水和仁	生涯学習課長	西川良浩

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	知禿雅仁	書記	寺本育美
--------	------	----	------

開議 午後1時00分

○議長（小森重剛） 皆さんこんにちは。ただいまの出席議員数は12人でありま
す。よって定足数に達していますので、これより平成29年第1回竜王町議会定
例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 1 発委第1号 竜王町議会委員会条例の一部を改正する条例

○議長（小森重剛） 日程第1 発委第1号、竜王町議会委員会条例の一部を改正  
する条例を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

提出者、議会運営委員会委員長、菱田三男議員。

○議会運営委員会委員長（菱田三男） 議会委員会条例の一部を改正する条例につ  
いて、提出の理由を説明いたします。

町行政組織機構の見直しが平成29年4月1日から実施されることにより、常  
任委員会の所管する課が変更となることから、竜王町議会委員会条例の一部を改  
正するものです。

以上。

○議長（小森重剛） 以上で、提出理由の説明が終わりました。

これより、質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

日程第1 発委第1号を原案のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めま  
す。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第1 発委第1号は原案

のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 2 議第 1 4 号 平成 2 9 年度竜王町一般会計予算

(予算第 1 特別委員会委員長報告)

○議長(小森重剛) 日程第 2 議第 1 4 号、平成 2 9 年度一般会計予算を議題といたします。

本案は、予算第 1 特別委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

予算第 1 特別委員会委員長、古株克彦議員。

○予算第 1 特別委員会委員長(古株克彦) 議第 1 4 号、予算第 1 特別委員会報告。

平成 2 9 年 3 月 2 7 日

委員長 古株 克彦

去る 3 月 7 日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第 1 4 号、平成 2 9 年度竜王町一般会計予算について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、3 月 1 4 日、1 5 日、1 6 日の 3 日間第 1 委員会室において委員全員出席のもと、西田町長、桴木副町長、山添総務主監、松瀬住民福祉主監、田邊教育次長兼教育総務課長、担当課長及び各関係職員の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成 2 9 年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ 5 5 億 8, 6 0 0 万円で、前年度に比べ 6 億 5, 5 0 0 万円の減、率にして 1 0. 5 % の減となっています。前年度当初予算に比べて減少した主な要因は、滋賀竜王工業団地整備に係る事業がおおよそ完了となり、5 億 5, 8 7 7 万 4, 0 0 0 円の減となったことに加え、国の補助金を活用した畜産競争力強化対策整備事業が、国において平成 2 9 年度予算分を前倒して平成 2 8 年度補正予算で対応することになったことにより、1 億 2, 1 9 5 万 3, 0 0 0 円の減となったことなどによるものです。

歳入の主なものは、町税では、対前年度当初予算から 1 億 2, 7 1 3 万円、4. 4 % の減とする。一方で、地方交付税・臨時財政対策債をあわせて対前年度当初予算から 1 億 6, 0 0 0 万円、3 4. 8 % 増としています。

また、歳出削減及び歳入確保に努めてもまだ不足する所要の財源のため、財政調整基金から 2 億 2, 4 9 6 万 9, 0 0 0 円を取り崩すこととし、予算編成されました。これによって平成 2 9 年度末の同基金残高は 8, 0 0 0 万円程度となる見込みで、引き続き危機的状況であります。

次に、歳出で重点配分したものは、魅力ある農業の創生事業が400万円、竜王近江牛等特産品発信事業が210万円、ふるさと竜王夏まつり事業・ふるさと文化振興事業が475万円、定住促進住宅新築・リフォーム助成事業が800万円、地域支え合いしくみづくりモデル事業が100万円、福祉医療費助成事業が1億697万円、子育て応援軽自動車購入助成事業が109万円、生き抜く力を育む学力向上事業が1,277万円、そのほか、企業立地推進事業が104万円、保育所運営費が2億3,348万円、竜王インター周辺地区整備費が2億8,662万円、道路橋梁整備事業が6,736万円、総合運動公園管理運営事業が740万円、学校現場業務改善加速事業が400万円などです。

その他債務負担行為として、OCRシステムリプレース業務、総合運動公園長寿命化計画策定業務、妹背の里AED借上事業、消防団員用制服等整備業務等についての限度額の設定等です。

地方債については、布引斎苑施設整備事業、墓地緑化等環境整備事業、基幹水利施設保全管理事業、社会資本整備事業等についての限度額の設定等です。

委員会での主な質疑応答は次のとおりです。

問) コミュニティ助成事業助成金は5地区と聞いたが、どの地区か。

答) 一般事業と防災事業の2事業があり、一般事業は川上・松陽台・七里・島、防災事業は川守です。

問) コミュニティバス運行委託補助金に関して、ここ数年の利用者数はどうか。

答) 平成27年度は月平均7,042名、平成28年度は月平均6,224名で年々減少しています。

問) 若者交竜コーディネーター事業委託について、委託内容は何か。

答) R SNSの取り組みについて、コーディネーターとして民間事業者を活用し、事業運営、会議の実施、イベントの実施について、メンバーが企画立案したことを包括的に取りまとめてもらう内容です。

問) 新規事業「魅力ある農業の創生推進」のうち、以前と違う新たな取り組みはあるのか。

答) 新規作物導入支援と稲わら収集推進支援です。それ以外は、過去に事業名は違いますが、同じ内容で取り組みをしていました。

問) 戸別所得補償経営安定推進事業は直接払いであると思うが、どのような目的で入ってくるのか。

答) 平成26年度にできた農地中間管理機構を活用した場合の機構集積協力金

が県から町に入ってくる。この歳入が町の予算上その名称になっている。

中間管理機構に預けられた農地に対して、農地集積協力金が予算として国、県を通して支出されている。農地中間管理機構を活用された機構集積協力金が予算化されています。助成金875万円を国、県から受けまして、竜王町から農家の方に農地集積協力金として交付しているものです。

問) 町道改良工事について、町内全ての道について舗装の悪い箇所の把握をしているのか。今後どのようにしていくのか。また、河川愛護について、伐竹のフォロー作業をどのように考えているのか。

答) 舗装については主要幹線を主にしている。そのほかは随時、点検をして激しく傷んでいる箇所や地域の要望のあったところから順次、応急的に舗装している。現在、公共施設の道路の維持修繕費用についても起債ができるようになり、道路の長寿命化計画をつくった際には、起債を充当できることから今後考えていきたい。

伐竹については、河川愛護を有効利用していただき、地元作業でお願いしたい。

県に対しては、現在、河川愛護については1回くらいという形の面積割となっており、軽減を図っていくことになれば、複数回実施することにより持続性が出るのではないかと提案しています。

問) 新規事業「学校現場業務改善加速事業」は補助事業なのか。

答) 100%国の補助事業です。学校現場における業務改善加速事業については、アシスタントをマネジメントする方が必要なため、それには県の加配教員がつく方向にある。その教員でもってアシスタントを指導していくこととなります。

委員会での主な意見は、執行部の予算編成の取り組みにおいて、事業費の内容を十分に把握され、細部の計画を練られた上で説明をしていただきたい。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

○議長（小森重剛） ただいま、予算第1特別委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

日程第2 議第14号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第2 議第14号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 3 議第15号 平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算

（予算第2特別委員会委員長報告）

日程第 4 議第16号 平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）予算

（予算第2特別委員会委員長報告）

日程第 5 議第17号 平成29年度竜王町学校給食事業特別会計予算

（予算第2特別委員会委員長報告）

日程第 6 議第18号 平成29年度竜王町下水道事業特別会計予算

（予算第2特別委員会委員長報告）

日程第 7 議第19号 平成29年度竜王町介護保険特別会計予算

（予算第2特別委員会委員長報告）

日程第 8 議第20号 平成29年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算

（予算第2特別委員会委員長報告）

日程第 9 議第21号 平成29年度竜王町水道事業会計予算

（予算第2特別委員会委員長報告）

○議長（小森重剛） 日程第3 議第15号、平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定予算）から日程第9 議第21号、平成29年度竜王町水道事業会計予算までの7議案を一括議題といたします。

本案は、予算第2特別委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

予算第2特別委員会委員長、松浦 博議員。

○予算第2特別委員会委員長（松浦 博） 予算第2特別委員会報告。

平成29年3月27日

委員長 松浦 博

去る3月7日の本会議において、予算第2特別委員会に審査の付託を受けました、議第15号から議第21号までの平成29年度竜王町特別会計予算6会計及び水道事業会計予算の7議案について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、去る3月13日午前9時から、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催しました。町執行部より西田町長、甲津教育長、山添総務主監、松瀬住民福祉主監、田邊教育次長兼教育総務課長及び関係課長などの出席を求め、それぞれ所管する予算について説明を受け、審査を行いました。

議第15号、平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ13億4,000万円で、前年度比較4,970万円の増額、率にして3.9%の増となっています。

歳入の主なものは、国民健康保険税が2億4,522万2,000円、国庫支出金が2億5,131万7,000円、前期高齢者交付金が3億5,619万1,000円、共同事業交付金が2億5,824万円です。

歳出の主なものは、保険給付費が8億2,888万8,000円、共同事業拠出金が2億6,341万3,000円です。

主な質疑応答は、問)平成30年度以降に国保制度が都道府県化されるが、国保税率について、町が決定するのか。

答)保険税率については、町が県の示す標準保険料率を考慮して決定します。なお、県は平成36年度以降に県下保険料率を統一したいと言っています。

問)財政調整基金について、今後どのように運用されるのか。基金を取り崩し、税率を下げることをしないのか。

答)平成30年度の制度改正により、県から示された納付金を支払うためには税率を上げなければならないと思っています。しかし、保険税の急激な上昇を緩和するため基金を使うことも考えられ、今後、町国保運営協議会で協議を行ってまいります。

議第16号、平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ医科820万円で、前年度比較310万円の減額、率にして27.4%の減、歯科5,340万円で、前年度比較190万円の増額、率にして3.7%の増となっています。

医科では、歳出の主なものは、総務費が749万3,000円で、そのうち、

委託料として医科診療所指定管理料が700万円です。

歯科では、歳入の主なものは診療収入が4,117万7,000円、歳出の主なものは、総務費が4,263万4,000円、医業費が1,023万2,000円です。

主な質疑応答は、問) 医科診療所は平成29年度で指定管理が終了するが、平成30年度以降の方向性について、指定管理者としっかり協議されたい。

答) 十分な協議をし、後日報告する。

議第17号、平成29年度竜王町学校給食事業特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ6,080万円で、前年度比較140万円の増額で、率にして2.4%の増となっています。

歳入の主なものは、給食費負担金が6,069万6,000円です。また、歳出は、給食事業費6,080万円で、うち給食に係る資材費が6,030万円です。

質疑は特にありませんでした。

議第18号、平成29年度竜王町下水道事業特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ6億8,310万円で、前年度比較1,410万円の増額、率にして2.1%の増となっています。

歳入の主なものは、農業集落排水及び公共下水道の使用料が1億7,799万4,000円、一般会計繰入金が2億9,015万3,000円、下水道事業債が1億6,690万円です。

歳出の主なものは、農業集落排水事業費が1,576万2,000円、下水道事業費が2億479万2,000円、公債費が4億6,204万6,000円です。

主な質疑応答は、問) マンホールポンプの修繕費とマンホール維持管理業務委託料の違いは。

答) 修繕費については、漏電の可能性のある1カ所の取りかえ修繕の費用となり、維持管理業務委託料については、20カ所のマンホールポンプの点検等年間保守料となっています。

問) 使用料について、農業集落排水使用料は前年より減少しており、一方で、公共下水道使用料が増加しているのはなぜか。

答) 農業集落排水使用料は、対象地区の人口減少に伴う減であります。一方、公共下水道使用料については、対象地区の人口は減少しつつあるものの、大丸企

業団地等の新規下水道接続による増を見込んでいることからです。

議第19号、平成29年度竜王町介護保険特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ8億6,780万円で、前年度比較1,400万円の増額、率にして1.6%の増となっています。

歳入の主なものは、第1号被保険者保険料が2億590万8,000円、国庫支出金が1億9,030万7,000円、支払基金交付金が2億3,181万4,000円、繰入金が1億1,746万7,000円です。

歳出の主なものは、保険給付費の居宅介護サービス給付費が2億6,754万8,000円、施設介護サービス給付費が2億5,202万5,000円、地域密着型介護サービス給付費が1億9,179万1,000円です。

主な質疑応答は、問) 保険給付費のうち、居宅介護サービス給付費が前年比較で3,785万2,000円の減額、地域密着型介護サービス給付費が4,179万1,000円の増額となっているが、増減の理由はなにか。

答) 町内の通所介護事業者の1事業所において、平成28年度当初予算策定時には、居宅介護サービス給付費対象の通所介護事業所として運営を目指されましたが、最終的に、平成28年4月より地域密着型通所介護サービス事業所として運営されることにより、その事業所で通所介護サービスを受けられた方の給付費は、地域密着型通所介護サービス給付費から支出となり、これを踏まえて、平成29年度当初予算において、居宅介護サービス給付費の減額、地域密着型サービス給付費の増額となっております。

なお、平成29年度当初予算では、その事業所での地域密着型介護サービス給付費としての支出を年間2,100万円を算定しております。

問) 介護予防・日常生活支援総合事業が開始されたことにより、給付費と事業費等の関係性を説明されたい。

答) 平成28年度より介護予防・日常生活支援総合事業が開始されたことにより、介護予防給付のうち、介護予防訪問介護と介護予防通所介護は新総合事業に移行し、給付費から事業費に変更となっています。利用者の受けていただくサービスとしては、介護予防訪問介護については、従前と同様サービス、介護予防通所介護については、従前と同様のサービスに半日型の同様サービスを追加しています。

議第20号、平成29年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ9,650万円で、前年度比較27

0万円の増額、率にして2.9%の増となっています。

歳入の主なものは、後期高齢者保険料が6,820万2,000円、一般会計繰入金が2,809万円です。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金が9,504万円です。

主な質疑応答は、問)対象者は何人いるのか。また、自己負担の1割、3割は何人か。

答)平成28年度の平均で見ると1,441人。自己負担割合は、3割が35人程度で、残りは1割負担です。

問)保険料収入が6,800万円なのに、後期高齢者医療広域連合納付金は、9,500万円となっている。その差額はどのようになっているのか。

答)納付金は保険料収入と保険基盤安定繰入金を足したものです。

議第21号、平成29年度竜王町水道事業会計予算。

第2条関係の業務の予定量は、給水戸数が3,900戸で年間総配水量は164万立方メートル、1日平均給水量は4,200立方メートルです。

主な建設改良事業として、管路更新事業で1億9,175万円が見込まれています。

第3条予算は、収益的収入の予定額が3億6,806万円で、前年度比較199万7,000円の増額、率にして0.5%の増です。収益的収入の予定額は3億6,172万円で、前年度比較433万4,000円の減額、率にして1.2%の減です。

収入の主なものは、営業収益が2億9,582万円で前年度より減額、営業外収益が7,223万円で前年度より増額となっています。

収支の主なものは、営業費用が3億4,716万1,000円、営業外費用が1,435万9,000円でいずれも前年度より減額となっています。

第4条予算は、資本的収入の予定額が1億5,609万3,000円で、前年度比較1,529万3,000円の増額、率にして10.9%の増です。

資本的支出の予定額は2億2,255万2,000円で、前年度比較6,255万3,000円の減額、率にして21.9%の減です。

主な質疑応答は、問)収支的支出において、前年度予算額との較差の要因は何か。

答)総係費のうち委託料において、平成28年度では整備計画、水道事業ビジョン、アセットマネジメント等の作成に係る業務委託費を約900万円計上して

いたが、平成29年度については当該委託料分を皆減し、新たに経営戦略の策定に係る業務委託料を400万円計上したことが主な原因です。

問) 収益的収支の予算規模が縮小することは、事業、またはサービスの縮小を示すものか。

答) 水道事業会計の予算については収支均衡型ではなく、厳正な見積もりによる収支のおおの算定によるものである。よって、支出の規模が小さくなることは、事業またはサービスの縮小を示すものではありません。

以上、慎重審査の結果、議第15号から議第21号の7議案について、全員賛成で可決すべきものと決しましたので、ここに報告します。

**○議長(小森重剛)** ただいま、予算第2特別委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長(小森重剛)** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長(小森重剛)** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。採決は、1議案ごとに行います。

お諮りいたします。

日程第3 議第15号、平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計(事業勘定予算)を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長(小森重剛)** 起立全員であります。よって、日程第3 議第15号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第4 議第16号、平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長(小森重剛)** 起立全員であります。よって、日程第4 議第16号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第5 議第17号、平成29年度竜王町学校給食事業特別会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第5 議第17号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第6 議第18号、平成29年度竜王町下水道事業特別会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第6 議第18号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第7 議第19号、平成29年度竜王町介護保険特別会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第7 議第19号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第8 議第20号、平成29年度竜王町後期高齢者医療特別会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第8 議第20号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第9 議第21号、平成29年度竜王町水道事業会計予算を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第9 議第21号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第10 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第10 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、森山敏夫議員。

○議会広報特別委員会委員長（森山敏夫） 議会広報特別委員会報告。

平成29年3月27日

委員長 森山 敏夫

本委員会は、平成28年第4回定例会閉会後の12月27日、1月6日、13日、20日に委員会を開催し、議会だより178号の編集作業を行い、2月1日

に発行しました。

また、本委員会は、去る2月8日に栃木県栃木市議会（議会広報紙発行特別委員会）、さらに2月9日に福岡県筑後市議会（ちくご市議会だより編集特別委員会）より、議会広報の編集についての視察研修を受け入れ、広報編集技術のレベルアップを図ることを目的に、記事の編集方法、課題など、活発な意見交換を行いました。

次に、本委員会は、去る2月13日、滋賀県町村議会議長会主催の町議会広報研修会に委員5名が参加し、エディター・広報アナリストの吉村潔氏による「議会活動への理解と支持を得る広報のポイント」と題した講演を聞くとともに、議会広報クリニックを受け、広報編集技術のレベルアップを図る機会としました。

次に、本委員会は、本定例会中の3月7日午後2時20分から委員全員出席のもと委員会を開催し、議会だより179号について、掲載記事の概要検討と役割分担を決定しました。

議会だより179号は、平成29年第1回定例会の内容を中心に、平成29年度予算、委員会活動報告、一般質問、追跡コーナー、いきいき人生などで18ページにまとめ、5月1日に発行することになりました。編集のための委員会は、3月30日、4月6日、13日、19日に開催することと決定しました。また、このほか、議会だよりに関するアンケート調査を発行時に実施することも決定し、議会広報編集マニュアルについても検討しました。

次に、議会広報編集マニュアルについては、検討のための委員会を1月25日、2月13日、16日、3月14日に開催し、先進地での研修、町議会広報研修で学んだことを取り入れ、「伝える、伝わる、つながる」を念頭に置き、3月中に完成させ、今後はマニュアルを共有し、広報紙のレベルアップを図るために活用していくことを決定しました。

また、山形県金山町議会より議会広報編集に関する視察研修の申し入れがあり、6月29日に当委員会で受け入れることを決定しました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、議会広報特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。



日程第 1 1 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第 1 1 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、岡山富男議員。

○地域活性化特別委員会委員長（岡山富男） 地域活性化特別委員会報告。

平成 2 9 年 3 月 2 7 日

委員長 岡山 富男

本委員会は、1 月 1 3 日午前 9 時より委員全員出席のもと、町執行部より西田町長、山添総務主監及び関係課長等の出席を求め、調査を行いました。

滋賀竜王工業団地に係る基本協定等について、1 月 1 7 日に地元説明会を開催、また、2 月 1 3 日には、土地開発公社と立地企業が土地売買契約を締結する。それと同時に立地企業と町が基本協定及び環境保全協定を締結するため、その事前報告と内容の説明がありました。

主な質疑応答。

問) 工業団地への進入路について、県と公社は国道 4 7 7 号を通勤道路とすることで確約をしてもらっているが、企業としては、実際、どのように通勤道路を考えているのか。

答) 企業側は名神のアンダーや小口橋の道路は極力通らないようにします。通勤道路は国道 4 7 7 号を通ることとし、集落内の生活道路は利用しません。また、企業と町の覚書の中で、生活道路を利用しないことについて地元と協議することとしています。

問) 立地のない残りの分譲地やのり面の草が生い茂ってきた場合、維持管理は誰がするのか。

答) 立地するまでの分譲地は公社が管理します。宅地ののり面は、企業協議会で対応していただくようになっています。

本委員会は、2 月 1 7 日午前 9 時より委員 2 名欠席のもと、町執行部より西田町長、山添総務主監及び関係課長等の出席を求め、調査を行いました。

株式会社雪国まいたけの経過報告について。

接着剤製造企業とプラスチック成型企業の状況は、前回報告を受けた時点と同じ買い付けの証明のままであること。また、2 社のうち 1 社は、コンサル会社から開発のための個別協議に町へ来られた。買い付け証明の次の段階は仮契約とな

るが、その時期は今のところは不明であるとの報告がありました。

主な質疑応答。問) 今後、工場用地の中で、遺跡等が発掘がされるスケジュールがずれることは考えられるのか。

答) 盛土の範囲であれば問題はありません。ただし、盛土より下であれば影響はあります。進出企業の工場建設レイアウトによりますが、駐車場であれば問題はありません。

本委員会は、3月21日午後1時より委員全員出席のもと、町執行部より西田町長、桴木副町長、山添総務主監及び関係課長等の出席を求め、また、株式会社雪国まいたけ関係者出席のもと調査を行いました。

株式会社雪国まいたけについて。2月17日以後の経過報告がありました。当初計画していた4分割の売却では土地の面積が大きく、買い付けの企業にとって大変厳しいため、9区画となった。現在、2社が契約済みになっており、4社は検討中との報告がありました。

主な質疑応答。

問) この区割りでいけば9社で完売することになり、1つの工業団地ができることになるが、この団地の中、協議会組織をつくっていただき、窓口を一本化してもらったほうがよいのではないか。

答) 協議会組織については、株式会社雪国まいたけが窓口となり、主導的に対応していきます。

以上、地域活性化特別委員会報告といたします。

○議長(小森重剛) ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、地域活性化特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第12 人口減少対策特別委員会委員長報告

○議長(小森重剛) 日程第12 人口減少対策特別委員会委員長報告を議題といたします。

人口減少対策特別委員会委員長、森島芳男議員。

○人口減少対策特別委員会委員長(森島芳男) 人口減少対策特別委員会報告。

平成29年3月27日

委員長 森島 芳男

本委員会は、去る3月21日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと、町執行部より西田町長、山添総務主監、凶司政策推進課長ほか、担当職員の出席のもと調査を行いました。

調査内容。

1、転入、転出の10年間の推移とその理由について。竜王町の人口、寮所帯数、転入、転出者数の推移等の説明とアンケートによる転入、転出の要因の説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 若者は地域の風習が嫌で出ていくと聞くが、町はどのように考えているか。

答) タウンミーティングの中で、幾つかの自治会では、やはり若い人に住んでもらうためには生活改善をしなければいけないという意見をいただいています。町が自治会運営の中に入ることはできませんが、ある自治会では、全町的に生活改善的なことをすればという意見もあり、まずは、地域の中で話し合いの機会をもっていただくことも大切であると考えます。

問) 転入、転出の原因の1つが企業ということであるが、この傾向が続くなら、人口は歯止めどころでなく減り続ける。企業の動向なので、各企業が今後どのように思っているのか調査しないと人口動態がつかめない、そのことをどのように考えているのか。

答) 企業の動向ですが、企業の戦略もあるため、可能な限り企業と密にしていくことも大事で、その中で方向性を少しでも行政に示してもらえるような仕組みをつくることも必要であると考えます。

また、働ける場所をつくっていくことにより、町外から戻っていただく可能性をつくっていく、それと結婚された方々が戻ってくるためには、町の住みやすさ、子育ての魅力など、総合的に戻ってきてもらえる環境をつくっていくことが大事だと思います。

2番、竜王若者交流R S N Sの活動について。広く町にかかわる若者の活動や交流を活性化させ、地域へ愛着を醸成しつつ、定住の促進や交流を通じて、結婚、子育て支援などに結びつけることを目的とするとの説明を受けました。

主な質疑応答。

問) まちづくりフォーラムについて、町として全体的にどのように見て、どう総括しているのか。

答) フォーラムの大きな目的として、1つは、タウンミーティングに対してのまとめ、2つ目は、タウンミーティングから町長としてのまちづくりの方向性をアピール、3つ目は、それをバックアップすることで講演会、4つ目は、次のまちづくりを考えていく上で、その主役になってほしい若い方をいかにフォーラムの中で関わりを持ってもらうのかを目的として開催しました。

問) R S N S の組織運営はどうなるのか。

答) R S N S がどの方向に向いて動くかは、自分たちで決めてほしいと伝えていきます。行政は見守る立場で、目的からずれそうな時は補佐することはありますが、基本的には介入しないことにしています。将来的には、自主活動団体に育てていくことが大事と思います。

3番目、委員会の政策提言への取り組みについて。今日まで人口減少対策についての調査をしてきたことから、政策提言に向けて取り組んでいくことと決定しました。

以上、減少対策特別委員会報告とします。

○議長(小森重剛) ただいまの人口減少対策特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、人口減少対策特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

この際、申し上げます。ここで午後2時25分まで暫時休憩いたします。

休憩 午後2時09分

再開 午後2時25分

○議長(小森重剛) 休憩前に引き続き会議を開きます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第13 所管事務調査報告

(議会運営委員会委員長報告)

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

(教育民生常任委員会委員長報告)

○議長(小森重剛) 日程第13 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、菱田三男議員。

○議会運営委員会委員長(菱田三男) 議会運営委員会報告。

平成29年3月27日

委員長 菱田 三男

本委員会は、2月3日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、平成29年第1回定例会の日程について協議し、会期を3月2日から3月27日の26日間とする案を作成しました。また、平成29年度予算については特別委員会を設置し審査することとしました。

次に本委員会は、2月10日午前9時30分より301会議室において、議長、副議長、議運正副委員長出席のもと委員会を開催し、熊本県長洲町議会運営委員会より子ども議会についての行政視察の受け入れ対応を行いました。

次に、本委員会は、2月23日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より西田町長、山添総務主監、奥総務課長、ほか担当職員の出席を求め、西田町長挨拶の後、平成29年第1回定例会の提案事件について説明を受けました。今回提案される案件は、条例関係6件、補正予算7件、新年度予算8件、その他2件の計23件です。

なお、この中で「竜王町課設置条例の一部を改正する条例」が提案されることを受け、この採決結果を受けて、当委員会より「竜王町議会委員会条例の一部を改正する条例」を提出することに決定しました。

次に、同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を3月2日から3月27日の26日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

このうち、平成29年度竜王町予算については特別委員会を設置し、一般会計予算を予算第1特別委員会、特別会計及び水道事業会計予算7件を予算第2特別委員会において審査することを決定しました。また、「竜王町課設置条例の一部を改正する条例」、「竜王町立幼稚園条例の一部を改正する条例」及び「平成28年度竜王町一般会計補正予算（第5号）」は本会議第3日目に委員長報告を行い、採決することとしました。

次に、陳情の取り扱いについて審議し、「平成29年度「給与所得等に係る市町民税・県民税特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」への個人番号記載の中止を求める陳情書」については、議員全員に依頼文の写しを配付し、周知を図ることに決定しました。

次に、本委員会は、3月6日午前9時から第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、一般質問について審議しました。

一般質問については、10議員17質問となりました。

第4日の会議は午前9時から再開し、会議は通しで行い、会議時間の延長もあり得ること及び質問の順序は質問通告書の提出順序とすることに決定しました。

次に、本委員会は、本日3月27日午前8時30分より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、当委員会より提出した「竜王町議会委員会条例の一部を改正する条例」の議案の処理について審議しました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成29年3月27日

委員長 古株 克彦

本委員会は、3月8日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと、西田町長、山添総務主監、井口建設計画課長ほか、関係職員の出席を求め、付託案件に続いて所管事務調査を行いました。

所管事務調査。1、インターチェンジ周辺整備について。竜王インターチェンジ周辺は、既存の工業団地及び大型商業施設の進出に伴い、工業と商業が混在しながら地域の活性化に繋がったことから、周辺の交通量が増加している。昭和56年に名神竜王インターチェンジが供用開始し、平成22年に大型商業施設の進出に伴い、出入りロブースの増設やETC対応、竜王インターチェンジ南交差点の道路拡幅、右折専用レーン増設等のインターチェンジ周辺の機能が強化された。平成28年に滋賀竜王工業団地の関連工事で名神高速道路横断BOXの車道幅員の拡幅や左折レーン延長工事が実施された。

しかし一方で、平成25年に蒲生スマートインターチェンジ、平成28年に栗東湖南インターチェンジが開通以降、竜王インターチェンジの交通量が減っている点等、NEXCO西日本に働きかけるにはタイミングの悪さがある。

平成28年に名神高速道路横断BOXの改良工事が実施されたものの、渋滞緩和の根本的な解決に至っていない。今後、滋賀竜王工業団地への企業進出が見込まれ、また、株式会社雪国まいたけの工場用地への企業進出が決まりつつある中で、竜王インターチェンジのさらなる機能強化は避けて通れない。2市（野洲・湖南）の応援を受けながら、県、国、NEXCO西日本への働きかけをしていかなければならない。

主な質疑応答。

問) インターチェンジの機能強化については、工業団地の防災拠点が設置され、防災ヘリポートもある点等を強調しながら、災害時の配送機能の強化を含めて交渉しなければ、なかなか国を説得できないのではないか。

答) 工業団地の企業誘致とセットで早急にすべきと考えている。国道8号の整備促進期成同盟会のように組織して、図面もビジュアル的にすばらしいなと思うものをつくらなければならない。6月ごろに向かって再度準備し、具体的な動きができるようにしたいと思う。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。10番、山田義明議員。

○教育民生常任委員会委員長（山田義明） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成29年3月27日

委員長 山田 義明

本委員会は、3月9日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと、執行部より西田町長、松瀬住民福祉主監、森岡住民課長心得ほか担当職員の出席を求め所管事務調査を行いました。医科・歯科診療所について。医科診療所の受診動向。医科診療所は平成25年度まで直営で行ってきたが、医師の退職により、26年度より指定管理者制度を導入し、医薬分業制で行われるようになった。

診療日数は月平均20日前後、外来者数は24年度が月平均665人で、年々減少傾向が続いていたが、28年度は2月診療分までで前年度に対して101.9%と増加し、月平均440人であった。1日当たりの外来者数も27年度までは減少気味だったが28年度はやや持ち直し気味である。レセプト件数も26年度までは減少しているが、27年度は月平均で前年度に対して122.2%と増加している。

歯科診療所の受診動向。近年では、診療日数は月平均20日前後で、訪問診療を除く外来者数は月510人程度、1日当たりの外来者数は28人前後、レセプト件数は月330件前後である。

主な質疑応答。

問) 医科診療所について、「受診者数は指定管理開始時に町から聞いたより実際は少なかった」と指定管理者から聞いているが、どうなのか。

答) 指定管理者からは、最近は徐々に増えているとの報告を受けています。

問) 歯科診療所について、町内の民間診療所と比較して、どのように分析しているのか。

答) 民間と同様に治療も行いながら、民間でできない保健事業も行っています。歯科受診件数は落ちてはいますが、1件あたりの収入は増加傾向にあります、経営努力をしているほか、それ以外の保健事業にも力を入れています。

国保制度改革について。国保改革の概要。平成30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化を図るために行われる。

市町は資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課徴収、保健事業など地域におけるきめ細かい事業を引き続き担うことになる。

現行の国保財政のイメージは、市町の国保特別会計は、約1/2が公費の投入で、残りが保険料で賄うのが原則である。改革後の財政は、市町の保険給付費は県が全額交付し、県は、交付金に対する収入として、約半分は国の公費、残りは市町で徴収される保険料による納付金で賄う。

国のガイドラインで示す保険料の賦課徴収の仕組みでは、都道府県が市町ごとの医療費水準、所得水準を考慮し、納付金を決定する。市町が納付金を納めるために必要な標準保険料率を、都道府県が提示し、これを参考に各市町が保険料率を決定し、賦課徴収する。

主な質疑応答。

問) 県下市町の保険料率を統一すると新聞報道であったが、その場合当町は安くなるのか、高くなるのか。

答) 平成36年度以降に統一したいと県は言っているが、決定しているものではない。もし、統一された場合は、当町は医療費も所得も高いので税率が上がるかと予想しています。

問) 県への納付金額が滞納により不足する場合は、一般会計からの繰り入れはないのか。

答) ありません。

主な意見。

各市町では住民の健康推進に取り組んでおり、これらの活動が報われる保険料率の取り決めとなるよう県に進言していただきたい。

疾病の状況について。国保療養諸費月別推移は、一般分で平成23年度に比べ25年度は高額化している。27年度の10月には9月に比べ1500万円ほど

急増しているのは、C型肝炎の新薬が処方されたことによる。その後、1月に1、000万円ほど急増しているのは、心臓手術が3件この月に重なったことによる。

28年度は前半高い金額で推移していたが、後半は27年度並みの位置で推移している。

年間では、冬はインフルエンザなど病気のはやる時期ということもあり、年度後半に費用額が上がる傾向がある。

レセプト件数では1か月あたりの件数は年々増加し、1人当たり毎月1.5件医療機関にかかっている。

被保険者数は、平成24年度は2,657人で28年度は2,552人と減っているが、年齢別の被保険者数では65歳以上の方の割合が28年度では47.1%と上昇の一途である。

疾病分類別統計による一人当たり費用額を見ると、平成27年度の特徴は、40歳代の前半で脳血管疾患、40歳代後半は精神疾患が高く、50歳代後半からは筋骨格系の疾患、60歳代からは悪性新生物と高血圧性疾患も多い。

平成28年度診療分では30歳代から50歳代までの働く世代に精神疾患が多く、悪性新生物については、30歳代後半と60歳代以降に多くなっている。

脳血管疾患は40歳代後半に突出している。脳血管疾患は治療後のリハビリを伴うことが多く、長年医療にかかることになる。また、虚血性心疾患は50歳代前半に高くなっており、この2つの疾患は手術を伴い高額となる傾向にある。

平成27年度からは国保のデータヘルス計画を作成し、健康推進課と連携し生活習慣病の医療費を減らすことに取り組んでいる。

主な質疑応答。

問) 30歳代後半からのどの疾病も費用額が高いが、その中で、精神疾患が目立つが、その分析は。

答) 35歳以上の精神疾患は、ストレス性やうつによるものが多いと見受けられます。精神疾患になった場合は失職され国保に入らなければならなくなった方が多いため、費用額の増加につながっています。

問) 重複受診について解消できつつあるのか。

答) 重複については、レセプト情報からリスト抽出し、保健師が訪問していることから対象者は減ってきており、一定の効果が出ていると考えています。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいま各常任委員会委員長より、それぞれ報告がございま

した。この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、各常任委員会委員長報告はこれで
終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第14 議員派遣について

○議長（小森重剛） 日程第14 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣すること  
にいたしたいと思えます。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定  
いたしたいと思えますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いた  
しました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくよ  
うお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第15 委員会の閉会中の継続調査の申出について

○議長（小森重剛） 日程第15 委員会の閉会中の継続調査の申出についてを議
題といたします。

各委員長から会議規則第75条の規定によって、お手元に配付いたしました
とおり、閉会中の所管事務等の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。

各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませ
んか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件は各委員長から申し出
のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることといたし
ます。

西田町長。

○町長（西田秀治） 議員の皆さん、26日間にわたります平成29年第1回竜王

町議会定例会お疲れさまでございました。ありがとうございました。

平成29年第1回竜王町議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には、提案させていただきました議案に対しまして、連日各委員会で慎重なる御審議を賜り、本日全ての議案を可決いただきましたことに、心より厚く御礼を申し上げます。あわせまして、会期中にはそれぞれの委員会におきまして、また本議会一般質問におきまして、竜王町の将来に向かっての貴重な御提言や建設的な御意見を頂戴いたし、感謝を申し上げますとともに、新年度の行政運営に生かしてまいりたいと心を新たにしているところでございます。

平成29年度は、「明るく元気で活力溢れる強いまち竜王町」、「次世代に誇れる竜王町」の実現に向けまして、「成長戦略の策定、実践、実行」、「教育、福祉、医療、社会インフラの充実」、「魅力ある農業の創生」、「安心安全のまちづくり」、「高品質の行政サービス」の5つを実行してまいっている所存です。

これらの実行のために「活力」と「安心」を大きな柱といたしまして、1本目の柱の「活力」につきましても、企業誘致、教育力、発信力、拠点整備に、2本目の柱の「安心」では、公共交通、子育て支援、健康福祉、総合防災の施策に挑戦していき、どの施策におきましても、役場は町民皆様のためにあり、皆様から「行政は親切丁寧でよくやってくれている」と評価いただけるよう取り組んでまいります。

予算規模は大幅に減少しておりますが、減少の大きな要因は、滋賀竜王工業団地造成に係る関連事業が工業団地完成に近づき縮小したことによるものでございます。工業団地関係の予算を差し引いて比較をいたしますと、おおむね昨年度と同じような金額となります。

予算編成では、歳入の税収の伸びは期待できない状況で、歳出の社会保障関連経費は増加していることから、独自施策に使える予算が少なく苦勞いたしました。全体で一般財源を10%削減することを基本として抜本的見直しを行い、また、予算にメリハリをつけることで何とか編成をさせていただいたところでございます。ただし、これら見直しやメリハリをつけても不足する財源は、財政調整基金を取り崩さざるを得ませんので、今後、ふるさと納税を初め、新たな歳入の確保をしていかねばならないと考えております。

事業を積極的に進め、「明るく元気で活力溢れる強いまち竜王町」、「次世代に誇れる竜王町」の実現の第一歩を歩み出す大事な1年としてまいりたいと考え

ております。

議員の皆様におかれましても、くれぐれもお体を御自愛の上、議員活動に御専念いただき、御活躍くださることを心より祈念申し上げ、言葉足りませんが、閉会の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（小森重剛） 閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る3月2日に招集され、本日までの26日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては連日にわたりまして御出席を賜り、会期中、平成29年度一般会計、特別会計予算や条例改正など数多くの重要な案件について慎重に御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。

また、執行部におかれましては、適切なる対応をしていただき、議事運営に御協力を賜りありがとうございました。議員各位、並びに執行部各位の御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

執行部におかれましては、今定例会で各議員が述べられました意見や要望を十分尊重され、平成29年度の町政執行に反映するとともに、早急に具体的な取り組みを実行されますことをお願い申し上げます。

さて、西田町政がスタートし、半年が経過しました。その間、各自治会でまちづくりタウンミーティングが開催され、住民の声を聞かれ、去る2月25日にはまちづくりタウンミーティングの総括として町民フォーラムを開催され、竜王町で取り組む新たなまちづくりの5つの基本政策をお示しいただきました。竜王町議会においても、各特別委員会で調査・研究を続けているところです。

町に魅力があると若い世代は住み続けてくれますし、集まっても来てくれます。今、魅力ある竜王町が求められています。他の市町をまねしていれば、他の市町と同じようにしかならないという考えをもとに、よい事例はまねる、そして、本町独自の特色ある事例として変化させていけばよい、そのような柔軟性のある取り組みを望むところであります。

財政厳しい中、平成29年度予算が成立しました。また、さまざまな厳しい課題を克服すべく、特定プロジェクト推進室や産業建設主監などの設置による組織改革より、町有地の利活用の住宅整備や滋賀竜王工業団地の企業誘致の推進に全力投球をしていただき、住民の思いを結果として残していただきますよう、ぜひとも積極果敢に取り組まれ、実現できることを期待いたします。

平成28年度も残すところわずかとなってまいりました。議員各位、並びに執行部各位におかれましては、新しい年度に向けくれぐれも体を御自愛いただき、

町政の振興発展のため、なお一層の御尽力をいただきますようお願い申し上げ、閉会に当たっての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成29年第1回竜王町議会定例会を閉会いたします。
大変御苦労さまでございました。

閉会 午後3時02分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 菱 田 三 男

議会議員 山 田 義 明